

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使い下さい。
尚、お読みになった後は大切に保管して下さい。

■樹脂ドリッパー	P101	■サーバー	CS-3
	P102		CS-5
	P103		CS-10



直火不可



熱湯用



●直火にかけられません

THREE FOR 株式会社 三洋産業

〒874-0921 大分県別府市富士見町7-2
TEL 0977-25-3464 FAX 0977-25-2210

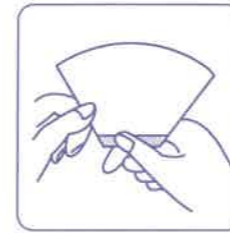
お手入れ方法

- 製品(ガラス、樹脂)を洗う場合は中性洗剤にやわらかいスポンジを使用して下さい。また、やわらかいスポンジでも裏面(反対側)にアルミ箔がついているもの、研磨剤のついているものなどは使用しないで下さい。
- スチールたわし、研磨剤入のクレンザーは製品に傷をつけ、破損の原因になります。
- 汚れのひどいときは、ガラス部分のみ「酸素系漂白剤」(当社取扱商品:デカントホワイト)のご使用をおすすめします。



◎プラスチック部分は厚生省食品衛生法の試験に適合した樹脂を使用しております。
フタ、ハンドル：ポリプロピレン
樹脂ドリッパー：AS樹脂

ドリップ式コーヒーの入れ方



1 ペーパーフィルターは、シール部分を互い違いに折る。



2 ペーパーフィルターを指でドリッパーに押しつけ、密着させてコーヒー粉を入れる(1杯分の量は約10g・メジャースプーンすりきり1杯)。



3 まずはお湯をコーヒー全体に浸み渡らせる(適量はサーバーに数滴落ちる程度)。30秒ほど蒸らし、十分に粉を膨張させる。



4 粉の膨張が落ち着いたら、中から外へ「の」の字を書くようにお湯を注ぐ。但し、あまり縁ギリギリまで注がないようにする。



5 必要な杯数分だけお湯を3~4回にわけて、よく泡がたつように「の」の字を書きながら全体に注ぐ。

サーバー 取扱上注意

- 直火にかけられません。
- 専用保温用加熱器具でお使いください。
- ガラスは割れるものです。洗浄やご使用時には丁寧にお取扱下さい。
- お子様に使用させないでください。また、幼児のそばで使用したり、幼児の手の届く所に置かないでください。
- 保温用加熱器具をご使用の際は、加熱板が小さく、サーバーを置いたときに不安定な器具は使用しないでください。
- ガラス器の内面を、金属スプーンなどで強くたたいたり、強くこすったりしないでください。また、氷を入れる際や、冷却攪拌する際、内面に当てると破損の原因になりますのでご注意ください。
- お飲物を入れて凍らせないでください。また、冷蔵庫に入れる場合は、冷ましてから入れてください。
- ご使用中に万が一、取っ手がゆるんだり、ぐらつくと感じた場合は、ドライバーを使い、ネジを締めなおしてからご使用ください。ネジをきつく締めすぎると、思わぬときに破損する原因となりますのでご注意ください。
- 空だきや中身が少ない状態で保温、加熱しないでください。
- ハンドルは熱くなりますので、素手で持たないで下さい。持ち運びの際には、なべつかみなどをご使用の上ハンドルをお持ち下さい。
- なべしきなどをご使用になり、特に熱に弱いビニール製のテーブルクロス、ビニールシートの上には直接置かないで下さい。
- ガラスが熱いうちに水の中に入れて、濡れたものの上に置かないで下さい。破損の原因となります。
- フタ、ハンドルは火の側に置かないで下さい。変形することがあります。
- 容量表示は目安の目盛りとしてご使用下さい。
- 炭火など火力の調整できない熱源、ストーブなどの暖房器具の上には置かないで下さい。
- 落としたり急激な衝撃を与えると破損しますのでご注意ください。
- ガラスにヒビ、欠け、強いスリ傷の入ったものは破損することがありますので、絶対に使用しないで下さい。
- 破損した際のお取扱いは、ケガのないよう十分ご注意ください。
- コーヒー、紅茶、お茶類用のポットとしてご使用下さい。それ以外の用途にはご使用にならないで下さい。
- ドリップする際に熱湯を使いますので、やけどにご注意下さい。
- 廃棄する際は、各自自治体の指示に従い分別してください。

ドリッパー 取扱上注意

- 樹脂は割れるものです。洗浄やご使用時には丁寧にお取扱下さい。
- 火の側に置かないで下さい。軟化または変形することがあります。
- 樹脂製のドリッパーを100度の沸騰湯で長時間煮たきすると変形することがあります。
- 落としたり急激な衝撃を与えると破損しますのでご注意ください。
- ヒビ、欠け、強いスリ傷の入ったものは破損することがありますので、絶対に使用しないで下さい。
- 金属スプーンなどでこすったり、たたいたりしないで下さい。破損の原因となります。
- お子様がご使用になる場合は、お取扱上の注意をご指導下さい。
- 破損した際のお取扱いは、ケガのないよう十分ご注意ください。
- コーヒーのドリップ用としてお使い下さい。それ以外の用途ではご使用にならないで下さい。
- ドリップ後のペーパーは、手でつまみ上げずにドリッパーから直接捨てて下さい。
- コーヒーペーパーを捨てる際には、やけどにご注意下さい。
- ドリップする際に熱湯を使いますので、やけどにご注意下さい。
- ドリッパーをおく際には、衝撃のないようにして下さい。
- 廃棄する際は、各自自治体の指示に従い分別してください。

【お願い】弊社有田焼製品について

有田焼製品は焼物の性質上、釉薬の掛かり方、色の濃淡などに個体差が生じます。弊社ではSDGs(持続可能な開発目標)の観点からも個体差につきましては良品と判断させていただいております。予めご了承をお願いいたします。

株式会社三洋産業

【NOTICE】

Due to the nature of glaze, individual differences in color shades cannot avoid to be occurred in porcelain products. From the perspective of SDGs, the above-mentioned individual differences are regarded as acceptable and good products. Your kind understanding is appreciated.

Sanyo Sangyo Co., Ltd. (CAFEC)